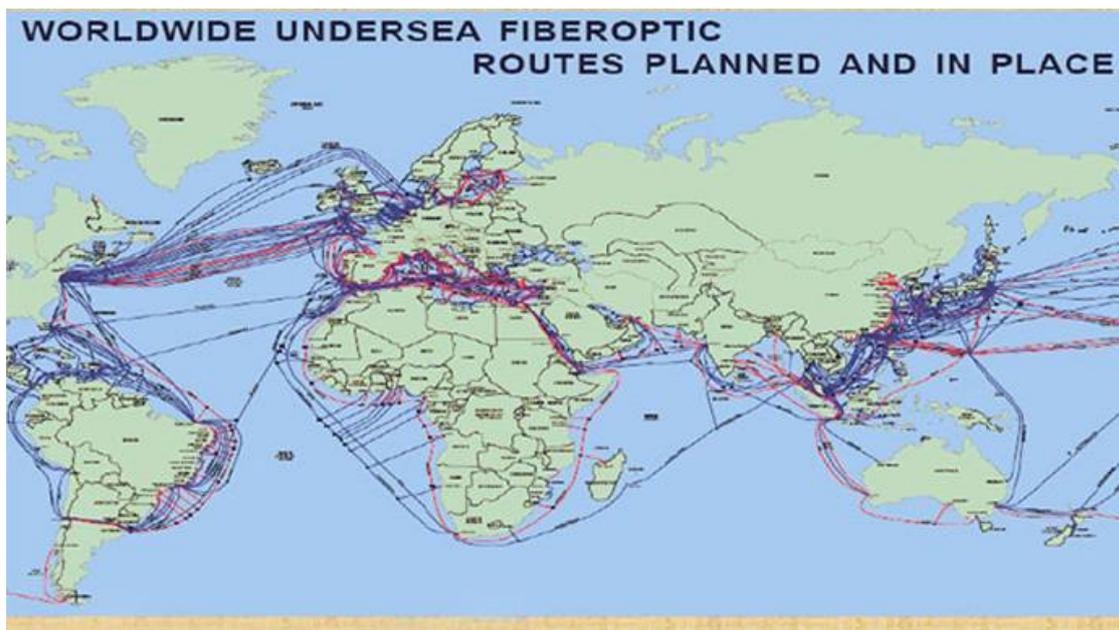


NSA がウェブ情報を傍受するために、[日本を含め] 33 カ国 を利用——スノーデン・ファイル

June 19, 2014

RT (Russia Today)

アメリカは 30 以上の第三当事国とトップ・シークレットの取引をし、国家安全保障局 (NSA) が、世界のそれらの地域のインターネット・データを運ぶ光ファイバーを傍受できるようになっていることが、新しいリークで明らかになった。



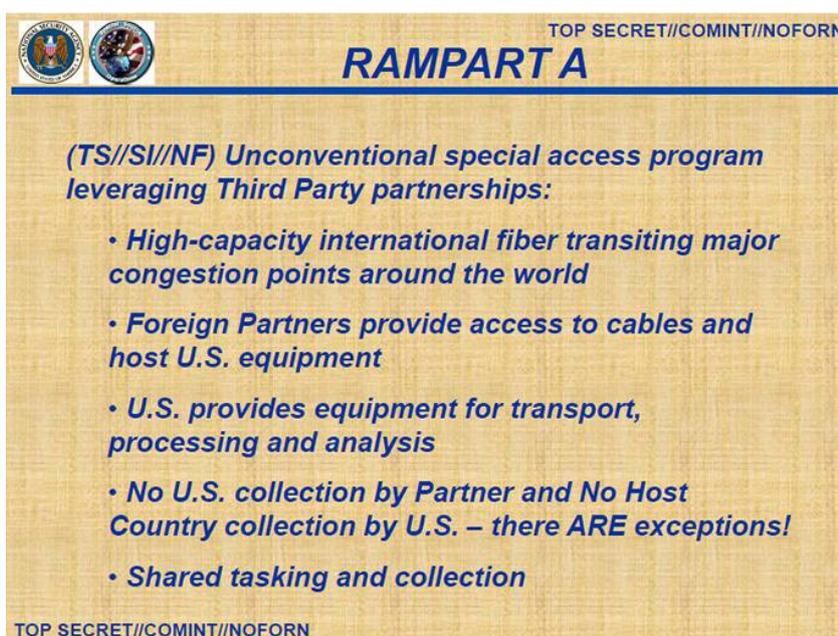
(計画中・使用中の世界的海底光ファイバー・ルート)

前 NSA 契約職員エドワード・スノーデンによって提供され、The Intercept 社とデンマークの Dagbladet Information 社のジャーナリストの公表した文書によって、秘密協定が存在する 33 カ国で、アメリカの監視能力を拡大するために、情報収集作戦が行われていることが初めてわかった。

これまで報道されていないこの NSA の作戦——コードネームを RAMPART-A プログラムという——は、それがなければ発信国から容易に得ることのできないウェブ情報を含むブ

ロードバンド・インターネットを、NSA に盗聴させることによって、「光の速さで膨大な量の通信情報をさらい取る」ものだと The Intercept 社の Ryan Gallagher は言う。

「NSA が、いわゆる“5つの目”監視同盟として、イギリス、カナダ、ニュージーランド、およびオーストラリアの盗聴要員と、緊密に組んで仕事をしていることはすでに広く報道されていた」と、ギャラハーは書いている。「しかし、最近のスノーデン文書によって、NSA が“第三パートナー”と呼ぶ他の多くの国家が、ますます重要な役目を果たしつつあり、彼らの光ファイバー・ケーブルに監視装置を取り付けることを、密かに NSA に許していることがわかった。」



Rampart は「城壁」の意味。

(トップ・シークレット//通信傍受//他国籍者には開放禁止) 第三当事者パートナーシップを要する通常外特別アクセス・プログラム：

- 世界の主要な情報集中点を通過する高容量の国際ファイバー
- 外国のパートナーが海底ケーブルへのアクセスを提供し、アメリカの設備を設置させる
- アメリカが送電、処理、分析のための設備を提供する
- パートナーによる米情報の収集、また米によるホスト国家情報の収集は禁止——例外がある
- 責任と収集が分担される

The Intercept と Dagbladet が一緒になって、一握りの極秘の NSA 内部文書を公表し、そ

れによってこの秘密の計画と能力が初めて明らかになった。またこのアメリカ情報局が、アメリカの物理的境界外の、インターネット情報が行き交う交差点で、これらのケーブルを傍受することによって、一瞬のうちに膨大なデータを吸い上げることができることも明らかになった。

スノーデンの提供したリーク文書により、すでに協定が存在する同盟国の情報を、ホスト国の協力の有無に関わらず、アメリカが傍受していることは、これまでにわかっていた。しかし最近のリークによれば、RAMPART-A は、現存の協定では集めることが困難な、外国人に関する情報を収集できる場所に、NSA を配置していることがわかる。

「インターネットの地図を見れば、驚くほど中継線が少ないことがわかる。ほとんどのデータが、驚くほどわずかの集中点を通して流れている。それにアクセスできれば、すべてにアクセスできるのだ」と安全保障の専門家 Bruce Schneider は、Dagbladet Information 社に語った。「目標は、できるだけ少ないアクセス・ポイントで、世界のほとんどをカバーすることだろう。多くのインターネット情報がアメリカを流れているが、bunch（情報会社5社の頭文字の BUNCH?）は流れていない。だから、アメリカになれば、世界の情報のある場所を覗こうとするだろう。」



The image shows a slide titled "Approved SIGINT Partners" with a "TOP SECRET//COMINT//REL USA, AUS, CAN, GBR, NZL" watermark. The slide is divided into three main sections: "Second Parties", "Coalitions/Multi-lats", and "Third Parties". The "Third Parties" section is further divided into two columns of countries. A small globe icon is visible in the top right corner of the slide.

Second Parties	Third Parties	
Australia	Algeria	Israel
Canada	Austria	Italy
New Zealand	Belgium	Japan
United Kingdom	Croatia	Jordan
	Czech Republic	Korea
	Denmark	Macedonia
	Ethiopia	Netherlands
	Finland	Norway
	France	Pakistan
	Germany	Poland
	Greece	Romania
	Hungary	Saudi Arabia
	India	Singapore
		Spain
		Sweden
		Taiwan
		Thailand
		Tunisia
		Turkey
		UAE

承認された電波諜報活動パートナー国家

第二パートナー：オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、イギリス

第三パートナー：アルジェリア・・・日本・・・シンガポール

連合/マルチラテン：AFSC, NATO, SSEUR, SSPAC

「もしあなたの国が鍵的場所であり、多くの興味ある情報がたまたまそこを流れているなら、あなたは重要なパートナーになる」と、もう一人の専門家 Mikko Hypponen はデンマークの新聞報道に付け加えた。

NSA は、この2つのニュース社に質問されたとき、“特別の、外国諜報活動と言われるもの”についてコメントを拒否した。この情報局の、許可の有無に無関係の、外国情報の盗み聞きは、これらの国から大きな非難を招いたが、これによって再び、監視をめぐる国際的議論に火がついた。

スノーデン 31 歳は現在ロシアにいて、昨年、アメリカから極秘の NSA ファイルとともに逃亡した後、ここに匿われている。彼はアメリカ政府にシステム管理者として雇用されていたが、今はスパイ罪で身柄を要求されている。